

応募者の概要

会社概要

会社名	有限会社 ゾープランニング	株式会社こいけやクリエイト
代表者	代表取締役 神崎 勝	代表取締役社長 西村 新
所在地	愛知県豊田市篠原町前田21	愛知県豊田市平戸橋町馬場瀬69番地1
創立	2008年4月1日	2011年8月8日
資本金	300万円	100万円
従業員数	5名(2019年3月現在)	8名(2019年3月現在)
事業内容	デザイン・広告、パッケージ印刷、WEB制作、システム構築、EC事業、動画制作、イベント企画・運営、飲食事業	広告企画・デザイン、各種印刷物のデザイン・制作、漫画制作、フリーペーパーの企画・運営・発行、イベントの企画・運営、動画制作、ホームページの企画・制作・運用、養蜂
主な取引先	(株)日本パッケージ / (株)太栄 / (株)鈴木工業 / (株)ACプラネット / SANYOU CO.LTD. / SUPEX CO.LTD.	豊田市 / JA愛知とよた / トヨタ自動車株式会社 / 足助観光協会 / エフエムとよた株式会社 / 豊田市国際交流協会 / 豊田市文化振興財団 等

応募者の経歴



神崎 勝 Masaru Kanzaki

有限会社 ゾープランニング代表取締役

経歴

豊田市生まれ豊田市育ち。名古屋文理短期大学・情報処理学科でプログラムについて学ぶ。卒業後、「人に喜んでもらえること」を求め辻調理師専門学校へ。調理師免許を取得。卒業後、積水ハウス梅田オペレーション株式会社へ入社。飲食部門・梅田スカイビル39F・中国料理「燦宮」にて修行。並行して愛知県・東京などでクラブイベントを企画・運営。また、豊田市民文化会館、能楽堂、東日本大震災チャリティーライブ4公演など、インド古典音楽のコンサートをオーガナイズ。積水を退社後、大阪に拠点を置いていた(株)轟屋へ就職。四天王ラーメン名古屋店の店長として名古屋に赴任。一日中行列が絶えない店を切り盛りする。後に思いたち、デザインの道へ。(有)ゾープランニングを設立。「もっとおもしろいこと」を追い求め、常に現場に立ち、デザインからイベント、飲食業と過去の経験を活かし活動中。



西村 新 Shin Nishimura

株式会社こいけやクリエイト代表取締役
 一般社団法人おいでん・さんそん 理事
 とよたプロモ部 代表

経歴

豊田市生まれ豊田市育ち。
 愛知県立豊田西高等学校卒業後、愛知県立芸術大学、印刷会社デザイナーや不動産の営業職、広告代理店のデザイナーを経て、2011年に「豊田の明日をクリエイト」をスローガンに掲げ独立開業。2012年法人化。豊田市内全域をフィールドに人と人をつなぐ活動をしています。

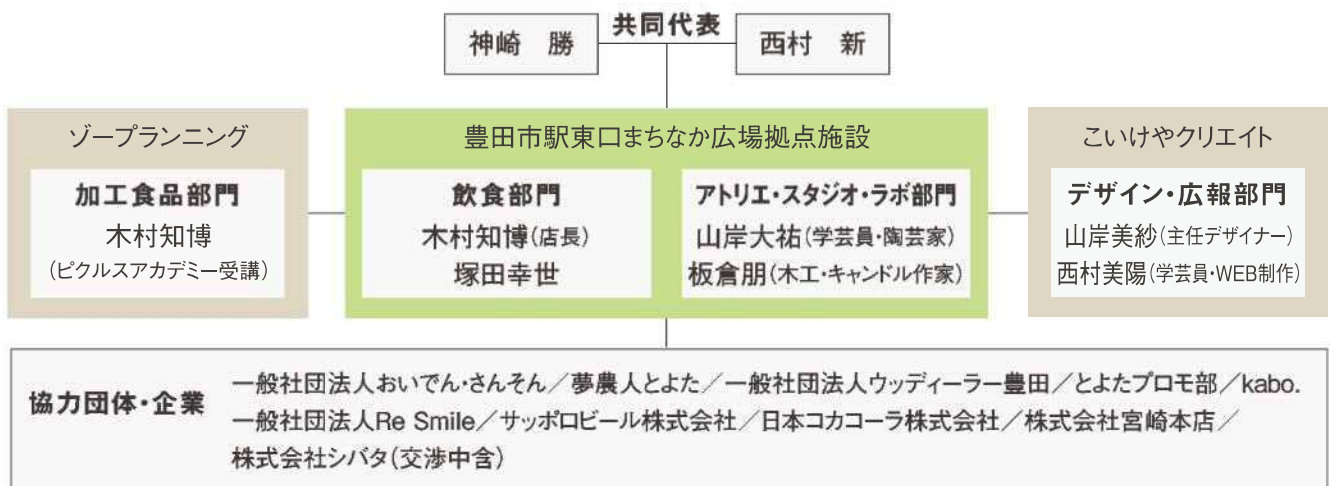
講師履歴

学生による街づくりプロジェクト / 青少年育成事業(フリーペーパーを作ろう!) / 豊橋市役所 農政課(おしゃれに農) / とよた市民活動センター(広報力アップセミナー) / 豊田商工会議所(広報力アップセミナー)等

実施体制



有限会社ゾープランニングと株式会社こいけやクリエイトの共同運営体制。企画力、運営力、デザイン力のある2社が互いのネットワークと強みを活かし、交流拠点となるような仕組みづくりをしています。



これまでの事業実績

各社実績

自社開催の事業だけでなく、行政・企業・市民活動団体などと連携し、豊田の魅力を発信し、プレイヤーの創出、育成、交流を図ってきました。これらの活動は市民のWE LOVE とよたの思いにつながり、シビックプライドの醸成に寄与しております。



 <p>「〇七商店」 ◎2016～18年 3期連続 公共空間を利用した広場運営として、「〇七商店」を企画・運営。 【まちの魅力向上・評価】 豊田のまちの人間交差点。毎日にぎわう〇七商店は、道路だった人々が行き交うだけの場所が、人種・性別関係なく、障がいを持つ人も集まり、交わる場所へ。笑顔と交流と賑わいが耐えない毎日を街の中に創出。また、橋の上盆踊りなど独創的で、誰もやったことがない、集客力のあるイベントを実施。●店舗運営資金は公費ゼロ。独立採算。</p>	 <p>フリーペーパー耕Life ◎2012年～年4回発行 「人生を耕す」をコンセプトに豊田の食、農、暮らし、環境、文化をテーマに発行しているライフスタイルマガジン。豊田市内を中心に15000部発行。 【まちの魅力向上・評価】 日本タウン誌・フリーペーパー大賞2014年「ライフスタイル部門」最優秀賞、2016年「読者投票部門」全国1位など受賞多数。全国的にも評価の高い。この本を見て豊田に移住することを決めた方もいるなど、ファンを着実に増やしつつ、豊田の魅力発信に尽力している。</p>
 <p>TOYOTA ROCK FESTIVAL ◎2007年～12年間 入場無料のロックフェス「TOYOTA ROCK FESTIVAL」の主催ジョイカルウェイブに共催・運営委員会として参画し、トヨロックCREWとして企画運営に携わる。 【まちの魅力向上・評価】 3日間で3万人を集客。フリーロックフェスとしては全国最大規模。橋の下世界音楽祭と2代フリーフェスが豊田に。豊田の魅力向上に繋げる。またTV、雑誌、Yahooニュースや、フジロックORGなど全国のNEWS、音楽メディアに取り上げられ続けている。</p>	 <p>人生を耕すプロジェクト 耕Lifeの媒体力を活かし、企業や団体とコラボし、地域資源を活かしたイベントを企画。 ●JAあいち豊田「柿収穫&お料理&感動の新米試食」、「選果場&桃畑見学ツアー」 ●スーパーやまのぶ「自然栽培いちごツアー」 ●蔵元桐塚味噌「みそツアー」 ●根羽村森林組合「おこしもの作り」 ●株式会社M-easy「もちっこくらぶ」 ●本気部「猪鍋作り」、「ラーメン作り」 など</p>
 <p>FMX AIR JACK ◎2017年11月 KITARAオープニングイベント。全国初、公道を使用した入場無料フリースタイルモトクロスショーケース「FMX AIR JACK」の開催。FMX AIR JACK CREWと共同企画・運営。 【まちの魅力向上・評価】 全国初!!公道を使用し、FMX開催。不可能に近い許可を豊田市が尽力し、民間の我々が豊田の街に誰も見たことない景色を作り、オープニングイベントを盛り上げる。官民が連携。また、TV、雑誌、WEB媒体と数々のメディアに取り上げられ、イベント+豊田の魅力の情報が発信された。●運営資金は公費ゼロ。民間から出資(クラウドファンディングと協賛)を募り開催。</p>	 <p>とよたまちさとミライ塾事務局 発注者:豊田市観光協会(平成27、28年度) 豊田市商業観光課(平成29、30年度) 4年間事務局を運営。パートナーと呼ばれるプレイヤーの育成やプログラムの企画作成補助、WEB予約システムの開発、広報物のデザイン、取材ライティングなど事業全体の企画、運営を担当。 【まちの魅力向上・評価】 4年間で約350プログラムをコーディネート。豊田の観光商品の開発。予約サイト登録者は2000人以上。</p>
 <p>MOTOR CAMP ◎2018年 豊田初、矢作川河川敷を活用した、入場無料の車両とキャンプの融合イベント「MOTOR CAMP」開催。主催・企画・運営。 【まちの魅力向上・評価】 子供の笑顔が多かったこのイベントは真夏に開催。ミズベリング・プロジェクト事務局/国土交通省水管理・国土保全局/国土交通省都市局が主催する、ミズベリングノクターアワード「川ろうぜ、街がえようぜ大賞」にて大賞受賞。矢作川河川敷の活用が評価された。また、豊田の河川の魅力と活用を全国に発信した。 ●運営資金は公費ゼロ。</p>	 <p>あそべるとよたプロジェクトプロモーション 発注者:あそべるとよた推進協議会 あそべるとよたプロジェクト立ち上げ当初からブランディング、プロモーションを担当。ロゴマーク、ポスター、パンフレットなどの広報物からWEBサイトの制作・運営、プロモーション動画の作成、イベント「あそべるとよたプレッシャーズ(2018年秋)」などを担当。 【まちの魅力向上・評価】 豊田のまちなかでチャレンジができる!ということを親しみやすいデザインでPR。プレイヤー増加に寄与。</p>
 <p>「香嵐溪」にぎわい創出 足助チームとのコラボ ◎2018年 足助チームとコラボ。旧花もみじを活用し香嵐溪の賑わい創出。旧花もみじの空間を共同企画・合同演出。「おさつチップス」、「串かつ木村」など自主企画・運営。 【まちの魅力向上・評価】 連日大行列を創り出し、香嵐溪の社会現象までに。SNSや口コミを評判に訪れるお客様が非常に多く、香嵐溪に新しいにぎわいを創出。自分たちのやり方、スタイルで地域の魅力向上に努めた。TV局数社が取材に。自分たちのフィルタを通し地域の魅力を発信。 ●運営資金は公費ゼロ。</p>	 <p>とよたプロモ部 ◎2016年～ 豊田市の魅力を市民側からプロモーションするために立ち上げた市民活動団体。豊田の魅力を知り、シビックプライドの醸成につなげることが目的。情報発信のためのスキルアップを目指した講座も多数開催。代表を西村が務める。現在部員は約120名。 【まちの魅力向上・評価】 豊田市と連携し「WE LOVE とよた」を広めるため、「WE LOVE とよたフェスタ(第2回参加者約9000名)」の事務局も担当。KITARA子ども縁日も担当。まちなかに子どもが集まる新たなコンテンツを生み出した。</p>